

# 一般質問

主な質問と答弁

## 不祥事防止対策

### 業務リスクの所在を明確化

#### 前倒しで進めるよう取り組みを強化する

武藤 正人

〔藤沢市公明党〕

**質問** 不祥事再発防止の取り組みを始めた矢先に、ミスが2件立て続けに発生した。市の取り組みへの対応の遅さが、職員の緊張感の不足にあらわれてミスが起ったように感じるが、不祥事の撲滅を図る具体的な対策について聞きたい。

**答弁** 本年4月1日に策定した行政改革2020基本方針に基づき、リスク所在の明確化を図るために、事務事業評価シートの様式に事務事業の執行に当たって参照する業務記述書の欄を新たに設けることで内部統制制度とリンクさせ、事務処理ミスを未然に防止している。あわせて、リスク影響度が大きい分野については新たにフローチャートを作成し、業務リスクの見える化を行い、一層の注意喚起を促す。

**再発防止対策を迅速に行うこと、職員の意識改革を不断に行っていくことが不祥事を起こさない風土につながるかと考えており、今年度計画しているさまざまな不祥事防止策も、前倒しでしっかりと進めるよう取り組みを強化していく。**

## NPO団体と協働

### 課題解決に取り組む

原田 伴子

〔市民クラブ藤沢〕

**質問** 場所、物、情報を共有するシェアという価値観が広がりをみせている。こうした視点から、将来に向けた地域づくりは、行政とNPOなどの活動団体が課題をシェアして一緒に取り組むことが重要と考えるが、NPOに対する支援の方向性について見解を聞きたい。

**答弁** 少子超高齢化の進展や人口減少社会の到来、さらにはライフスタイルの多様化などによる市政課題や生活課題を解決し、暮らしやすさを高めていくためには、NPOを初め、多くの

市民や団体の市政への参画が不可欠であると認識している。こうした取り組みを推進するためには、参画する市民や団体が生きがいややりがいを感じ、継続的に参加できる仕組みが必要であり、その受け皿としてNPO団体が開かれた組織となることや、組織化に向けた発展的なコーディネートができる人材の育成が重要となる。

市としては、協働のテーマに即したNPO団体や活動団体を育成するなど、未来に向けた大きな機動力となるよう、積極的に支援を進めていきたい。

**基金寄附者の思いをつなぐを醸成する**

神村 健太郎

〔ふじさわ湘風会〕

**質問** 基金は将来への備えという視点だけでなく寄附者の思いを大切にすることが重要であるが、本市の基金への寄附の現状と、寄附者のマルチパートナーシップの醸成に向けた考え方について聞きたい。

**答弁** 基金への寄附の状況として、平成28年度は、みどり基金や愛の輪福祉基金を中心に、約2200の個人団体から約1億2000万円をいただいた。機会を捉えて寄附者の思いを伺うよう努めているが、これまでの市と寄附者との関係は一對一であり、コミュニティ同士のつながりはない。同じ気持ちを有する寄附者がコミュニティを形成し、思いを具現化する充実した活動をしてもらうことができれば、地域の担い手の確保などの点で有効であり、寄附行為を社会参加の一つの形態と捉えながら、改めてその意義を知ってもらうよう取り組みが必要であると考えている。

気運を高め、共感を深めてもらう好機として、東京2020大会などの機会を捉え、一層多くの方に理解と協力をお願いしながら、金銭的な寄附に限らず、思いを共有する方々とのつながりをもってマルチパートナーシップが醸成できるよう取り組んでいきたい。

**農業の魅力アップ わいわい市の活用を**

北橋 節男

〔市民クラブ藤沢〕

**質問** 本市農業の魅力アップさせるため、農産物直売所わいわい市を、隣接する産地形成促進施設も活用することで、農業をPRすることを、農業をPRする

これまでの市と内業者者に対する取り組みが、業務の内容や競争性の確保等の観点により、市内のみでは発注できない業務もあることから、費用対効果を総合的に判断した上で、今後、また、工事の発注は、価格面、数量面、工程面等の経済的合理性、公正性等を十分検討した上で可能な限り分離・分割発注を行うよう努め、市内業者者に対して受注機会が確保できるように配慮している。市の事業の契約発注は、工事に限らず

## 費用対効果を総合的に判断

### 小規模事業者の支援

#### 市内企業への発注に努める

柳沢 潤次

〔日本共産党藤沢市議会議員団〕

**質問** 小規模事業者への支援は地方自治体の大きな役割の一つと考えるが、本市の小規模契約簡易登録制度の運用と工事契約における

が重要であるが、本市の基金への寄附の現状と、寄附者のマルチパートナーシップの醸成に向けた考え方について聞きたい。

**答弁** 基金への寄附の状況として、平成28年度は、みどり基金や愛の輪福祉基金を中心に、約2200の個人団体から約1億2000万円をいただいた。機会を捉えて寄附者の思いを伺うよう努めているが、これまでの市と寄附者との関係は一對一であり、コミュニティ同士のつながりはない。同じ気持ちを有する寄附者がコミュニティを形成し、思いを具現化する充実した活動をしてもらうことができれば、地域の担い手の確保などの点で有効であり、寄附行為を社会参加の一つの形態と捉えながら、改めてその意義を知ってもらうよう取り組みが必要であると考えている。

これまで市と内業者者に対する取り組みが、業務の内容や競争性の確保等の観点により、市内のみでは発注できない業務もあることから、費用対効果を総合的に判断した上で、今後、また、工事の発注は、価格面、数量面、工程面等の経済的合理性、公正性等を十分検討した上で可能な限り分離・分割発注を行うよう努め、市内業者者に対して受注機会が確保できるように配慮している。市の事業の契約発注は、工事に限らず

**湘南江の島海の王子 前面に出て活躍を**

堺 英明

〔ふじさわ湘風会〕

**質問** 報道により一躍全国的に注目されることになった海の王子について、もっと前面に出てアピールし、市内でのPRにも取り組み活躍してもらうべきと考え

湘南江の島海の女王を象徴している。今後、まずその役割をしっかりと果たすことで本市のイメージアップや観光誘客につなげていき、これまで同様、事業への参加協力についても藤沢市観光協会と連携して取り組んでいきたい。

**適切な服薬管理 普及啓発に努める**

平川 和美

〔藤沢市公明党〕

**質問** 昨年度から藤沢市薬剤師会が中心となり残薬に対する取り組みが始まっているが、まだ十分に理解が進んでいない。今後の意識啓発や支援策について市の見解を聞きたい。

本市の観光イベントに参加することにより、本市の知名度向上とともに誘客促進を図ることを目的として事業展開しており、観光のほかに消防や防犯等のイベントへの参加要請があった場合、可能な限り連携、協力させていただくなど対応

このように取り組みを進めるべきと考えるが、農業における市の役割と見解について聞きたい。

本市では、県内でもいち早く藤沢市都市農業振興基本計画を策定し、本市農業の安定的な継続により良好な都市環境を形成していくことを目指している。そのためには農業の魅力や価値を広く市民にアピールすることが重要であり、農業の振興を通じて豊かな自然環境を守り、生産者や市民が安心して暮らせる都市農業と市民生活が共存するまちづくりを進めていくことが、市の役割であると考

これまでのJAさがみに協力いただき、わいわい市の近くの畑で収穫を体験し、その食材を調理する講座を開催するほか、トマト選果場にて市内小学校の見学受け入れをしております。

これまでJAさがみに協力いただき、わいわい市の近くの畑で収穫を体験し、その食材を調理する講座を開催するほか、トマト選果場にて市内小学校の見学受け入れをしております。

このように取り組みを進めるべきと考えるが、農業における市の役割と見解について聞きたい。

本市では、県内でもいち早く藤沢市都市農業振興基本計画を策定し、本市農業の安定的な継続により良好な都市環境を形成していくことを目指している。そのためには農業の魅力や価値を広く市民にアピールすることが重要であり、農業の振興を通じて豊かな自然環境を守り、生産者や市民が安心して暮らせる都市農業と市民生活が共存するまちづくりを進めていくことが、市の役割であると考

これまでのJAさがみに協力いただき、わいわい市の近くの畑で収穫を体験し、その食材を調理する講座を開催するほか、トマト選果場にて市内小学校の見学受け入れをしております。

このように取り組みを進めるべきと考えるが、農業における市の役割と見解について聞きたい。

本市では、県内でもいち早く藤沢市都市農業振興基本計画を策定し、本市農業の安定的な継続により良好な都市環境を形成していくことを目指している。そのためには農業の魅力や価値を広く市民にアピールすることが重要であり、農業の振興を通じて豊かな自然環境を守り、生産者や市民が安心して暮らせる都市農業と市民生活が共存するまちづくりを進めていくことが、市の役割であると考

これまでのJAさがみに協力いただき、わいわい市の近くの畑で収穫を体験し、その食材を調理する講座を開催するほか、トマト選果場にて市内小学校の見学受け入れをしております。

このように取り組みを進めるべきと考えるが、農業における市の役割と見解について聞きたい。

本市では、県内でもいち早く藤沢市都市農業振興基本計画を策定し、本市農業の安定的な継続により良好な都市環境を形成していくことを目指している。そのためには農業の魅力や価値を広く市民にアピールすることが重要であり、農業の振興を通じて豊かな自然環境を守り、生産者や市民が安心して暮らせる都市農業と市民生活が共存するまちづくりを進めていくことが、市の役割であると考

これまでのJAさがみに協力いただき、わいわい市の近くの畑で収穫を体験し、その食材を調理する講座を開催するほか、トマト選果場にて市内小学校の見学受け入れをしております。

このように取り組みを進めるべきと考えるが、農業における市の役割と見解について聞きたい。

本市では、県内でもいち早く藤沢市都市農業振興基本計画を策定し、本市農業の安定的な継続により良好な都市環境を形成していくことを目指している。そのためには農業の魅力や価値を広く市民にアピールすることが重要であり、農業の振興を通じて豊かな自然環境を守り、生産者や市民が安心して暮らせる都市農業と市民生活が共存するまちづくりを進めていくことが、市の役割であると考

これまでのJAさがみに協力いただき、わいわい市の近くの畑で収穫を体験し、その食材を調理する講座を開催するほか、トマト選果場にて市内小学校の見学受け入れをしております。

このように取り組みを進めるべきと考えるが、農業における市の役割と見解について聞きたい。



農業の魅力アップにつながる環境づくりを進める

このように取り組みを進めるべきと考えるが、農業における市の役割と見解について聞きたい。

このように取り組みを進めるべきと考えるが、農業における市の役割と見解について聞きたい。

このように取り組みを進めるべきと考えるが、農業における市の役割と見解について聞きたい。

このように取り組みを進めるべきと考えるが、農業における市の役割と見解について聞きたい。

藤沢市薬剤師会が配布している活薬バッグと広報誌

